

日野市子育て支援施設個別施設計画(素案)パブリックコメント
(意見の概要と市の考え方、計画への反映方針)

【パブリックコメント】

実施期間：令和7年(2025年)1月21日(火曜)～令和7年(2025年)2月19日(水曜)
周知方法：市ホームページ、広報ひの
閲覧場所：七生支所、豊田駅連絡所、市内図書館、市政図書室、子育て課窓口
※その他、「日野市パブリックコメント手続実施要綱」により実施

パブリックコメント募集結果
意見等件数61件 提案者数59人

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
計画(素案)への意見					
1	60代	10	■子どもの出生率 子育てしやすいまち日野をうたっていました、いつも子どもの人口減少を前提に政策を決めていると感じます。出生率の低下は今や大きな社会問題です。日野市は、子どもの出生率日本一になるような取り組みをしてほしいと思います。	日野市では、子どもの健やかな成長と子育て世帯を支援するとともに、多様な保育サービスの提供、地域における子ども・子育て支援などに引き続き取り組んでまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
2	60代	10	■保育園の維持管理 自然もありとても住みやすい市だと感じています。建物の老朽化に伴い各施設を見直して行くことは、必要だと感じますが地域ごとにある保育園は、子育てしている若い保護者のかたにとってもまた地域の子も達にとっても何かあれば相談できる場所として存在意義があると感じています。実際散歩先などで市民のかたに声をかけたり相談をうけることもあります。マンションの積み立てのように計画的に修繕を行なえるようにして安心安全な建物の維持ができるようになることを希望します。なので福祉施設は、できる限り維持して欲しいです。	持続可能な保育サービスの提供の観点から、施設の長寿命化や集約・再配置等の再編に取り組んでまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
3	20代	24	■医療的ケア児・乳児等通園制度(子ども誰でも通園制度) まず、医療的ケア児の受け入れについては、体制が整った状態での開始が望ましいと思います。他市が行っている事業をみて学び、マニュアルをきちんと作成し、医療的行為が行える場所の確保ももちろんですが、受け入れできる職員体制を整えてもらいたいと思います。 次に、子ども誰でも通園制度については、利用者のかたにとっては画期的な取り組みだと思われそうですが、実情はどのようなものなのかをきちんと把握してからサービス開始を検討してもらいたいです。短時間の面談を行ったのみのお子様を、その上複数名、長時間お預かりすることはリスクも高いものだと思います。 新たなサービスや取り組みをはじめめることは意味のあることだと思いますが、保育士として働く中で、もっと現場の声に耳を傾けて、現状を把握してもらいたい思いも強いです。現状の職務に加えて、新しいことをはじめる職員体制は整っているのか、職員は十分な知識を持ち合わせているのか、そして何より現場は協力する姿勢であるのか、実際にサービスにあたるのは現場の保育士や看護師等の専門職として従事している職員という意識を持って、出先職場の環境や意見がもっと尊重されると良いと思っています。	■医療的ケア児 現在、(仮称)保育所における医療的ケア児の受入ガイドラインを令和6年度(2024年度)末までに策定する予定で準備を進めております。ガイドラインでは、受入れ条件や手続き、保育園側の準備、緊急時の連絡方法、市の役割など、児童を安全に受け入れるための様々なルールを当事者のご意見も伺いながら策定しています。令和8年度(2026年度)に新規入園を希望する医療的ケア児は、このガイドラインに基づき、受け入れてまいります。なお、障害者差別解消法、東京都障害者差別解消条例、日野市障害者差別解消推進条例では、国や地方公共団体だけでなく事業者にも障害を理由とする不当な差別的取り扱いを禁止し、必要かつ合理的な配慮をすることが義務化されております。受入れにあたっては、その児童の症状やケアの方法等、個別な対応が求められ、かつ成長と共にそのケアの内容も変わります。受入れの可否の判断や安全な保育のためには、市・保育園・保護者との連携と信頼関係の構築が必要不可欠となることから、ガイドラインに基づき三者で丁寧に進めてまいります。 ■乳児等通園支援事業(子ども誰でも通園制度) 当事業は、0～2歳児の約6割を占める未就園児を含め、子育て家庭の多くが「孤立した育児」の中で不安や悩みを抱えており、支援の強化を求める意見があることなどから、すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、すべての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化することを目的としています。令和8年度(2026年度)に子ども・子育て支援法に基づく新たな給付制度として全国で実施される予定であることから、整備量確保等の体制整備は自治体の責務となります。一方で、事業の導入に向けては、短時間の預かりによる懸念や人員配置のあり方、利用可能枠の定め方、配慮が必要な子どもを受け入れる体制の整備など、多くの課題もあり、引き続き検討が必要です。また、支給の認定、利用児童の管理、施設への補助、指導監査といった新たな業務も必要です。事業の実施に向けては、子育て施設のご意見等も聞きながら円滑な事業の導入に向け、引き続き検討してまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 «該当ページ»	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
4	40代	36	■ソフト面の評価、保育の質について 計画を全て読んでみて、ハード面に対する評価と計画が詳細にあらわされていると思いました。市の財政状況や今後のことを考えると、市で勤務するものとしてはあらためて肝に銘じ、理解していかなければならないと思いました。一方、各施設のソフト面の評価の項目についてですが、「幼児教育・保育と小学校の連携」や「特別な配慮を要する子どもへの対応」等について、実際の内容よりも評価が低いように感じられました。報告にあげる内容は端的に表現されることが多いので、現状が詳細に把握されることは難しいことですが、毎日の保育の中で努力している内容が把握され、ぜひ計画に反映されていくことを希望します。 また、「日野市の保育全体の質の維持向上については、公立保育園が中心となって、民間保育園や地域を巻き込みながら進めていくことも必要となります。公立と民間がお互いの特徴を生かし、相互に補完し合って、一体的に日野市の保育 サービスの提供(必要な保育量の確保と質の維持向上)を行っていきます。」とありました。公立保育園で勤務するものとして、保育の質の維持向上のために貢献していきたいと思っています。	計画の実施にあたっては、現場の意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
5	50代	36	■保育所の多様化 保育士が足りていません。子どもの安全を第一に保育をしています。健やかな成長のための経験も、人がいない中では出来ません。身体もそして心もボロボロです。さらに「乳児等通園支援事業」病児保育、医療的ケアの必要な子どもの支援など、現状のままで、できないです。人材の確保ができたうえで、多様化は進めてください。正規職員の採用と会計年度職員の給料をあげないと人は日野市の保育園には集まらないと思います	公立保育園の人材確保策としては、新卒採用の他、経験者枠の採用に力を入れており、令和6年度は受験要件を緩和するとともに、3度の募集を行っています。受験者自身の子育てが落ち着いた世代からの人材確保も目指しております。また、公立保育園では現場で働く職員にアンケートを実施しました。本アンケートは「想いをカタチにプロジェクト」の一環として実施し、公立保育園に勤務する皆様からの声を聞くことで、より良い保育園にしていくとともに、保育人材確保に関する施策を検討するための資料として活用することを目的としています。職員約350人に対し実施し、回答数は255人、回答率は73%でした。アンケートの結果から、公立保育園は福利厚生や安定性、市が運営しているということでの安心感といった魅力がある一方で、施設の老朽化や人手不足、事務量の多さ、保育の柔軟さに欠けるといった課題が改めて確認されました。アンケートの結果を受け、パソコンの追加導入やカスハラ基本方針の策定など、できるところから環境改善を進めています。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
6	40代	2	人材確保が困難で、現場はとても苦しい状況です。そちらを最優先に考えてほしい。会計年度職員は増えているが、やはり正職員ではないとできない仕事が多く、業務が増えすぎている。人がいれば良いと言う考えではなく、正職員をもっと増やしてくれないと、仕事が辛くなり入所してもやめてしまう人が増える一方である。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
7	20代	13	■こども誰でも通園制度 こども誰でも通園制度という機能は良いことだとは思いますが、実現に向けて考えていくときに、人員の不足解消や環境の改善も忘れずに考えて欲しいなと思います。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
8	60代	23	保育園の在り方について『多様なニーズ』を念頭に置き反映させていく、とあるが、そもそも「こども誰でも通園制度」の内容が今一つ釈然としないように感じられる。既存の保育園の利用者と単発利用で通園する利用者がどのように同居していくのか、課題は山積である。また、そこに勤務する職員の有り様についても、漠然としたものしか感じられない。 勿論これから討議を重ねていくことはあるが、保育園の利用者、従事者が双方ともより良い方向に向かって欲しいと切に願うものである。	こども誰でも通園制度については、No.3と同じ意見であるため、No.3の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
9	不明	6	公立保育園の民営化が何園も検討されているが、多様な保護者や子どもが増えていく中、日野市の保育の質を守っていく為には公立保育園が必要だと思えます。P6の認定子ども園をすすめていくのなら、人材確保や施設面での改修をきちんとした上で、行ってほしいです。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。 施設の維持管理については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
10	不明	52	公立保育園を子ども園にするという計画が出ていますが子ども園にすることで、就労していない保護者(家庭)のお子さんも入園するようになる(3・4・5才)ことを踏まえての意見です。 ・就労していない(両親)家庭のお子さんの保育時間を明確にしてほしい。 ・入園の優先順位について就労(両親)している保護者(家庭)の子どもが優先されるのか？それとも人数枠があるのか？ 今後検討していくのであれば、現場の意見も聞いてほしい。	認定こども園は、教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能(保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能)と、地域における子育て支援を行う機能があります。幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4類型があります。保護者の就労などがない1号認定の場合の保育・教育時間は4時間で利用可能で園に直接申し込むことになります。就労などがある2号・3号認定の場合は原則11時間以内で利用可能で、市の利用調整で決定します。 公立保育園の認定こども園化の内容については、現場の意見等も聞きながら、詳細を検討してまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
11	不明	51,52	新卒で日野市に入庁し、希望あふれていたのに公立保育園がどんどん民営化されていること、こども園に移行しようとしていること、人手が足りないことを知り、ショックを受けました。本当に日野市に入庁してよかったのか？と思います。私たち保育士の働く場所、公立保育園を、市としてしっかり守ってほしいです。	近い将来、未就学児人口減少に伴う保育需要の減少が想定されるため、市内保育所などの最適化の観点から、保育需要に合わせた利用定員の縮小や施設の統合などにより調整を行っていく必要が生じます。 日野市として持続可能な保育サービスの観点から、財政負担も考慮し、公立保育園から民間保育園への運営主体移行や、公立保育園の規模縮小、民間も含めた施設統合などの検討については、今後必要となると見込まれます。 一方で、保育所には「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」や病児保育などの保育所の多機能化、特別な配慮を要する子どもや外国にルーツをもつ子ども、医療的ケアが必要な子どもなど多様な支援ニーズへの対応、幼児教育・保育と小学校教育の円滑な接続など、保育の質の維持向上が求められています。 保育全体の質の維持向上などについては、日野市全体で取り組んでいく必要があり、公立保育園が中心となって、民間保育園や地域を巻き込みながら進めていくことも必要となります。 公立と民間がお互いの特徴を活かし、相互に補完し合って、一体的に日野市の保育サービスの提供(必要な保育量の確保と質の維持向上)を行っていくことが必要であり、今後も必要なあり方の検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
12	不明	2、6	P2保育園の多機能化、P6あさひがおか保育園の子ども園化について 公立幼稚園のニーズが少なくなっており、保育園はまだまだ必要が高いということで子ども園へ移行していくことは良いと思う。(それによつては職員の人員が増える)一方幼稚園も保育園も配慮やケアを要する子が増えている中、そういった子達を専門的に預かる施設を作ってもいいのでは？エールも近くにあるので幼稚園とエールを合体。今後、医療的ケアが必要な子や発達支援が必要な子の受け入れが増えてくる中、そういった専門の機関ができると職員としても心強いし、市民のニーズもあるのではないと思う。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
13	不明	2	保育園の多機能化は、職員数をそのままでは無理があり、色々なこに対応はできないのが現状。職員数をしっかり増やし対応できる体制をまず整えてからのスタートを厳守してほしい。このままでは職員がやめていってしまう。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
14	不明	24、51、52	P51(1)再編検討の取組み指針 小さい子を育て外に出ていこうとする者にとっては行きやすさ(近い、車の置き場がある等)は重要です。よくバランスをみて考えてくださるといいと思います。 P24保育園・配慮すべき事項、P52今後の進め方 ・コストがかかってしまうことは今後の持続のために避けたことは良く分かります。しかし保護者等大人のためだけのサービスや、コストのための複合化ではなく、本当に子どものためになるのか、それが本当に最善の環境なのかを、実践のある有識者や現場の専門職の声を聞き、よく考えてすすめてほしいです。 ・日本は遅れていますが、保育・幼児教育も公で責任を持つてほしい位だと思います。子どものこと、日野の将来を考えるなら公立をしっかり残していけるといいなと思います。	今後予測される財源不足に対応するため、各施設の維持管理や更新等にかかる費用の縮減方策として、子育て支援施設の長寿命化や集約・再配置等の再編を検討していく必要があります。同時に、再編事業を通じて施設の安全性や利便性を向上させるとともに、子育て支援サービスを必要とする市民に対して、不足なくサービスが提供されるよう配慮することが求められます。公共施設全体の総量削減と同時に公共サービスを充実させていく「縮充」の視点を踏まえ、子育て支援施設においては、周辺地域の公共施設との複合化等を検討してまいります。検討にあたっては、施設等の現場の状況や利用者の声を大切に進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
15	不明	26～ (第3章3・2・2)	施設評価指標による評価でひらやま保育園はA維持・継続と評価され、地域に住宅も増えているので必要性を感じているが、施設の老朽化も目立っている。維持できるよう適切な改修、補修をお願いしたい。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
16	不明	6	各園を必要に応じて修繕、支援のニーズに対応、とあるが、各園から情報、状況を聞き取ったうえで緊急を要する園、優先度の高い園などを把握してくださることで、それが子どもたちのため、ひいては市民の為になると考えます。またよりよい保育をすることができそうです。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
17	不明	3、5	ひらやま保育園は、保育の面で評価が良く頂いていますが施設面において団地と共有なので古く維持が大切です。利用者の安全保障の面の上でも施設維持管理の充実をお願いしたいです。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
18	不明	5	安全な施設を維持していくため、地域の需要に応じていくためにも、ハード面、ソフト面をふまえ、複合化・民営化など見直しをしていく必要があることが分かりました。周辺施設と連携しながら、より保育や子育てのしやすい環境になればよいと思います。また公立園の民営化が検討されていますが、公立の保育士の働く場所も守っていただけたらと思います。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
19	不明	6	子育て支援施設の最適化方針(保育園) 修繕による維持管理だけでなく、設備のアップデートもしてほしい。使いにくい昔の設備のままでは子どもたちも生活がしにくい。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
20	不明		公立保育園を大幅に減らしていく方向性が出されていますが、それが本当の意味で「子育てしやすい町、日野」につながっていくのでしょうか？地域にねざした保育をすることで、地域の中で子どもが育っていく意味があるのではと思います。統合的に反対です。減らしていくことにも反対です。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
21	不明	36	多様なニーズへの対応が求められ、保育の質の維持向上に公立保育園が中心となつて、民間保育園を巻き込んで進めていくことが必要と書かれていますが、公立保育園の縮小や民間保育園への運営主体の移行を行うことで果たして大丈夫なのかと心配になります。今までの公立保育園が果たしてきた大きな役割を改めて振り返っていただきながら進めてもらいたいと強く思っています。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
22	不明	23	こども誰でも通園制度など、保育所としての求められる機能がさらに大きくなる中で、施設総量の縮減や複合化を行うことでも保育所の多機能化に対応できるようにすると良いと思います。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
23	不明	3	「子育て支援施設の最適化に関する基本的な方針」の「多機能化・複合化」について「多機能化・複合化、共用化等による施設更新 これらを維持することでサービスの充実や利便性の向上を図る」とのことですが、その地域の中で育っていく子ども達にとって、本当の意味でのサービスの充実となっていくのかが疑問です。地域ごとにある特色やつながりの中で幼児期から小・中学校へと育ちあえる環境を大切にしていってほしいと思います。維持管理や運営コストの低減ありきの施設総量の縮減には反対です。子どもや保護者目線の検討をお願いします。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
24	不明	12	ハード面、ソフト面から評価し、今後についての予測を立てながら、再編計画がたてられているところは、市民としても安心するところだと思います。特にもぐさ地区の子育て施設が充実することで若い家族が増えることも期待されます。この計画の実行にあたっては、プロジェクトチーム等が発足されるかと思われませんが、是非現場の保育士等をメンバーにむかえ、現場の声を生かすことで、子どもにとって良いものが作られていけると思います。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 なお、計画の実施にあたっては、現場のご意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
25	不明	13、24	「保育の質への関心が高まっており、在園児だけでなく保育園の多機能化や多様な保育ニーズへの対応が求められている」とありますが公立保育園が2-3園まで減るとある中で公立と民間が相互に補完しあって一体的に保育サービスの提供(P24)ができるのでしょうか。 保護者としては保育サービスを打ち出せばスムーズに利用できると期待するもので、現場の受け入れ態勢が整えられるよう通常の業務を抱えながら新たな業務を始めるに当たって職員の負担が大きければ利用している子どもや保護者にも影響があり、負担が多いからこそ保育士の確保が難しくなっている現状も含めて無理のないよう進めていってほしいです。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
26	不明	36	未来を担う子ども達にとって安心・安全な環境で育っていくことを願っています。その保育現場で働く私達の職場を守っていききたいという思いは、職員一同が一緒だと思います。 P36公立保育園から民間保育園への運営主体移行や、公立保育園の規模縮小とありますが、これ以上の縮小があつては、公立保育園が中心となっていくように思います。 この計画に際し、是非現場の意見を取り入れていただく形で実行を望み、市民が先に情報を得ることのないようにしていただきたいです。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
27	不明	39～56	子育て施設全般の最適化方針からこれからのあり方や現状と今後の方針について読ませていただきました。これらの計画に尽力していただいた方を労います。必要とされていると思われる施設が老朽化し、10年の年月を先に見通した計画をしていく必要性と危機感を感じました。保育士も高齢化が進み、これから施設の長として活躍していく人がどれだけ残るのかも懸念するところでした。日野市の公立は3園が残り、その園を拠点となることもみえてきました。現しんさかしたも2026年には10年間運営できるように改修されるようです。子ども達の安全のために保全計画されているのも分かりました。先を見通した計画が達成されることと、保育園のために30代、40代が手をあげて「何かしよう」という長として動ける人がどうか育ってほしいと願っています。また施設面では、2才室が暗く狭く、換気も悪い、床暖房もないAになっている評価に疑問を感じた。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
28	不明	36	最適化方針 しんさかした保育園、大規模改修工事で比較的良好な状態とあるが2階の4才、5才室と玄関は良くみえるが、1階の0才、1才は床暖房がついたものの2才室やトイレは寒く便座も冷たく、保育室内は給湯設備もなく劣悪な環境で過ごしている。感染対策をどんなに唱えても寒さの中で水で手を洗うことは難しいです。長寿命化改修の中で現状の問題を改善し、更に市民ニーズに応えられるよう対応される事を期待します。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
29	不明	36	保育園の在り方について こども誰でも通園制度や病児保育等、保育所の多機能化について記載してありますが、現状の人員数だと欠員の解消もできていない中で厳しい面が多くあると思います。人員募集もしていただいています、厳しい現状の中、どのように対応していけば良いのでしょうか。保育の質の維持向上も求められる中、人員が確保されないと保育士の負担は増える一方で、離職率も増えてしまうと思います。人員確保についてどのようにお考えでしょうか。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
30	不明	4	ハード評価指標あらい保育園が「D」評価という点について 老朽度 古さに加え、動線が良くないので子供たちが使いやすい形にしたい ハザード評価 浅川の近くに園がある為風水害避難訓練などで避難時の状況によっては避難場所までの道の安全確保ができない場合なども想定して避難場所をかえれるとよい。その時の長期滞在が可能なのかもきちんと確認できるとよい。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。 避難場所については、ハザード評価を踏まえて、より適切なあり方について、施設と連携して進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
31	不明	52	(4)今後の進め方については現在職場におりはじめていますが、事業内容については今後とも、現場とのすり合わせとともに保育園現場への情報共有をおねがいします。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 なお、計画の実施にあたっては、現場の意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
32	不明	52	今後進めていく中で現場の意見を聞いて頂き共有しながら進めていただければと思います。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 なお、計画の実施にあたっては、現場の意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
33	不明	1～6	日野市子育て支援施設個別施設計画について今後の保育園について現場にもしっかり説明しながらより良い日野市となるようにして欲しい	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 なお、計画の実施にあたっては、現場の意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
34	不明	5	多様な保育ニーズが求められている現状の中、利用者も従事者も相方が活き活きと利用できるよう、現場からの意見にも耳を傾けてもらいたいです。また、これからの未来を担う子ども達が安心してすごせる施設、設備を整えていけるとよいと思います。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 なお、計画の実施にあたっては、現場の意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
35	不明	3、6	P3 人員が足りていないと安全な保育に支障が出るため、適正な人員配置をお願いします。 P6 保育園と周辺子育て支援施設が複合化したり、民営化などもある場合、職員や保護者へ随時情報提供をするなど、丁寧な対応をお願いしたいです。(職員や保護者の不安がつのるため)	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。 子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 なお、計画の実施にあたっては、現場の意見等も聞きながら、円滑な実施に向けて検討を進めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
36	不明		公立保育園の統合、縮小を進めることは、保育の質を下げることにつながると思います。日野市は公立園が充実していたおかげで、保育水準を保ち、質を上げていくことは、未来ある子ども達の育ちを守ることにつながっていきますので、これ以上公立園をなくすことには反対です。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
37	不明	17	・保育の質の向上 ・特別な配慮を必要とする子への保育 保育士として上記のことを念頭におき、保育をしていきたいと思っています。その中で、人材不足についても解消していくことができるよう、今後も一緒に考えていくことができたら幸いです。採用の人数、年齢など配慮していただきありがとうございます。人材がそろってこそ、保育の質の向上ができていくのではないかと思います。よろしくお願いします。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
38	不明	24、36	計画策定の背景などから書かれて分かりやすかったです。P24の保育園の枠にあることも誰でも通園制度ですが、先日研修をうけて本当に誰でも…なんだなあと感じています。自治体によっても時間等…受け皿が異なるとお聞きしたので、決まっていることがあれば教えていただきたいです。 P36 公立保育園が中心となって…と表記されていますが、これから民営化で、公立保育園が減っていく中それが可能なのか…不安なところがあります。	こども誰でも通園制度については、No.3と同じ意見であるため、No.3の市の考え方をご確認ください。 公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
39	不明	36	最適化方針について 子どもを育てていく為の施設はやはり公で任うべきだと思っています。民間委託には反対です。保育園は長いこと適正な人員配置がされていなかったのが職員が民営化したしかたないとなってしまうのも当然だと思います。また公立が中心となって多様な支援ニーズに対応していく、とのことですが、まずは適正な配置や現場の整備などきちんとしてほしいと思います。人材育成も急務だと思います。若い職員が働き続け経験を重ねていけるような職場環境が必要かと思います。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
40	不明	2、36、37、38	P2、P36 保護者の労働又は疾病その他の理由で、乳児・幼児その他の児童が保育を必要とする場合、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、子どもに対し保育及び教育を行うことを目的とする施設です。また、地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割もある施設です。 ※児童福祉法24条→保護者の労働又は疾病その他の理由で、その監護すべき乳児・幼児その他の児童について保育を必要とする場合において当該児童を保育所において保育しなければならない。 ※保育所保育指針第1章総則 保育所は、乳幼児が、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごすところである。保育所における保育の基本は、家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に家庭養護の補完を行い、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図るところである。そのために、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成するところに保育所における保育の特性がある。また、子どもを取り巻く環境の変化に対応して、保育所には地域における子育て支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割も必要となっている。 ※日本国憲法 保育に直接関わる条文第26条に基づく。幼稚園等に教育機関でもある。 P37あさひがおか保育園の認定子ども園、P38みさわ保育園の保育所型認定子ども園化について P12の利用ニーズにあるように、保育園への申込みは増加傾向にあります。全国的に見ても2000年以降幼稚園化の様子を見ても設置が進んでいません(2～3%)国では、子ども家庭庁発足しましたが、幼稚園は文部科学省管轄のままです。その為財政的支援の不足や、会計事務の煩雑化(幼稚園対象児は1号認定、3歳以上の保育所対象児は2号認定、3歳未満の保育所対象児は3号認定) 幼稚園対象児の昼迎え時間の担任の保護者対応に対して、保育所対象児の保育の人員確保。 幼稚園対象児が3季(春夏冬休み)に入るため今までの保育内容の見直し等、様々なケースが出てきているようです。 2026年度予算で、みさわ保育園の公立認定子ども園化にむけて予算化されたようですが、都内では新宿区や、大阪府吹田市では公立の保育園、公立の幼稚園の子ども園化等があるようですので、ぜひ幼稚園・保育園職員が視察・学習・話し合い検討し、子どもたちや保護者にとって毎日が、安全で楽しく幸せに過ごせる施設を作っていたことを希望します。	保育園の機能については、ご意見を踏まえ、修正させていただきます。 子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。	2頁【保育園】の欄に以下を追記します。 「保育園は、入所する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、入所する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行う役割を担います。」
41	不明	8、12	「P12 2・2・1 保育園(1)利用ニーズの推移と今後の見通し」の所に、保育所申込み人数が増加傾向が続いているとありますが、「P8(2)関連計画の整理 ひのっ子若者みらいプラン」にあげられている目標に向けて、保育士不足や人員不足の問題をまずは解決しなければならないと改めて感じています。保育学生のボランティアやアルバイトを募集する等、実際の保育の現場を見て経験してもらえる機会を設けるのはどうでしょうか。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
42	不明		保育園のハード面がAとありますが、昭和53年に建てられた園舎なので、古さは否めません。トイレが寒く、便座を温かくしてあげたい、各クラスの水道(子ども)もお湯が出るようにしてあげたい…等今後のことを思うと改善してほしいです。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
43	不明	1	資料3-2 P1 「縮充」の考え方について 必要な考え方だと思いますが、現時点での「充」を大切に考えていただきたいと思います。 子どもたちが日々生活し、成長する場である保育園です。保育士をはじめ全職員がゆとりをもってひとりひとりの子どもに向き合い丁寧に育ててゆきたいと願っています。そのためには、とくに保育士に欠員を出さず、正規職員を配置し安心安全な保育が行えるよう保障していただきたいと思います。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
44	不明		みさわ保育園は、老朽化が激しいため、子ども園化に向けて計画されているのはいいことだと思っています。子どもの数が減っていても、三沢、落川地区には新築の家がどんどん建ち、ニーズは高いです。今後も日野市の子どもたちによりよい計画にしてください。	子育て支援施設の複合化・集約化については、No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
45	不明	36	「最適化方針の保育園の在り方」の部分 多様なニーズが求められている保育園ですが、人員不足が解消されないことには、現場へのさらなる負担増となるのではないのでしょうか。 日野市の保育全体の質の維持向上について公立保育園が中心となるならば、働きやすい現場にしてください。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
46	不明	13	保育園の多様な他者との関わりの機会の創出事業にご尽力いただき、ありがとうございます。 P13「多様な保育ニーズへの対応」が求められていくにあたり、安心・安全な保育ができるよう、今後も保育園と連携を図って進めていただきたいと思います。よろしくをお願いします。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
47	不明	2	人材確保が困難な昨今、既存の職員に対してどういったフォローを考えているのか？ 理由：保育の適正配置など保育を取り巻く環境が変わっていくなかで職員に対して働きがいを感じられるフォローがどのようになされているか気になったため。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
48	不明		第3章 子育て施設の最適化について 保育園の中でも中長期的に周辺施設との複合化や統合、民営化などを検討していく旨が記載されていますが、第2章では入所申込率の増加や待機児童数への影響、保育園の多機能化や多様な保育ニーズへの対応等求められるとあります。そういった様々なニーズに応えていくのには、公立保育園が適しているのではないのでしょうか？確かに建物の老朽化など問題はありますが、今まで公立保育園が地域に根ざし、地域の中で子ども達を保育してきたことを考えると、その地域性を踏まえて公立保育園がその地域ごとにあるべきではないかと考えます。2052年度までの中長期的な計画ですが、その時々で地域のニーズを考慮して計画が進むことを願います。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
49	不明		日野市の子育て支援施設の保全計画について 保育園の建物や設備の老朽化が進んでいてとても心配です。園舎の劣化や設備の不具合が子どもたちの安全や快適な保育環境に影響を与えます。(悪臭、寒気などとても酷い)耐震性の確保や遊具、空調設備、物品の安全面を最優先とした整備をすぐに進めてください。子ども達が安心して、快適に過ごせる環境を考えていただきたいです。	施設の維持管理や再編については、No.1と同じ意見であるため、No.1の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。
50	不明	24	日野市の人口減少、施設の老朽化等から、施設を維持していくこと、その財源が厳しいことはこちらの素案を読み、理解しました。一方では、保育園のニーズが高まり、子どもを預けて働くという生活が主流となっている今日、公立保育園を廃止、縮小していくということが、今ニーズがある状況において、納得がいきません。理由は以下の通りです。 P24「(公立保育園は)多様なニーズへの対応も検討」とありますが、今すでに、長年培われてきた保育実践の経験をベテラン保育士から若手保育士へ引き継がれながら、保育全体の質の向上や公立園での連携を図りながら、障害児保育、多国籍保育等また特別な支援を要する子の保育そして保護者支援などでは地域に根ざし様々な役割を果たしています。 こういった子は、市内のある1点に集まっているわけではなく、それぞれの地域で暮らし、人と関わり、育っています。子のためにも保護者のためにも、市内には、各地に公な保育施設、子育て相談のできる場所があるべきです。 日野市地域未来ビジョン2030にもありますが「住み慣れた地域で生き、看取られる」という文言はとてもすばらしいと思っています。もし、「この周辺に障害児をあずかる保育施設はないからあっちへ引っ越してね」では、子の気持ち、親の気持ちはいかがなものでしょうか。そうならないためにも、市内各地に継続的な公立保育園の存在が必要だと思います。こちらの計画は28年計画ですので、もちろんこの先も随時再検討されると思いますが、運営側の公立重視の考えだけでなく、すべての子どもが安心・安全にすごせる地域づくりがすすめられることを切に願っています。	公立保育園のあり方については、No.11と同じ意見であるため、No.11の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただきます、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
51	不明	40	P40についてたかはた保育園は、Dという評価でしたが、団地内は他国籍の方が増えてきていたり、母子家庭や家庭環境に事情のある方も増えてきていて、「近くに保育園があって助かる」との声を耳にします。「D」という評価にも不満を感じます。また、未来を見据えての計画であることは理解できますが、「今」保育現場は人が足りず、日々の業務に追われています。子ども達への対応も不十分になりつつあります。未来のことではなく「今」をどうにかして欲しいと思います。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
52	不明		施設が新しくなるとうれしいです。	各施設のハード評価及びソフト評価を踏まえ、機能も含めた計画的な施設整備を実施してまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
53	不明	13	まんがんじ児童館の機能向上を図る建替え、この地域に住む4歳児の母親としてとてもうれしい。現在の児童館の施設の老朽化が気になっていました。我が子が安心して遊べる場所が近くにあることは大変心強いです。保護者側の気持ちを考えると、この児童館に限らず、老朽化している施設は同様に建替え等を検討して行ってほしいです。	まんがんじ児童館は令和7年度に建替えを予定しております。建替え後も引き続き地域の安心・安全な居場所として運営してまいります。 No.52と同じ意見であるため、No.52の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
54	不明	3	第3章子育て支援施設の最適化に関する基本的な方針 多機能化・複合化について、内容について妥当かと思います。 施設評価指標による評価もあっていると思います。 第3章3・2・3検討事項もその通りでよいかと思います。	No.52と同じ意見であるため、No.52の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
55	不明	1～	今後10年の計画について(子育て支援施設個別施設計画) 老朽化などを含めて考えると、必要なことと思います。会議室だけの計画ではなく、現場の声も取り入れながら、全ての人が日野市でよかったと思えるものにしてほしいと思います。	No.52と同じ意見であるため、No.52の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
56	不明	2、3	施設を多機能化・複合化することでサービス充実・利便性の向上・事業の効率化・コスト低減をはかっていくということですが、多機能・複合することにかかる費用はしっかりつかっていき、他の自治体にも誇れるような施設になると嬉しいです。多機能とすることで働く職員の方が途惑わないよう、しっかり計画的に進めていき、必要な人員、物品等には予算をきちんと使っていただけると良いと思います。	No.14と同じ意見であるため、No.14の市の考え方をご確認ください。 人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
57	不明	2	第2章子育て支援施設に係る現状及び将来の見通し 保育園、児童館、学童クラブ、その他子育て支援施設、どの施設も数が足りず、待機されている方が多い。日野市での子育ての場日野市の職場が増えると街も活き活きすると思う。日野市の宝となるのはやはり「家庭」だと思います。住みやすい、子育てしやすい、働きやすい、環境を整えるのは行政の仕事だと思います。老朽化の建物は、新しく設けるにしても、取り壊しに費用がかかるので中間地点などが好ましい。老朽化の建物は改修し、同施設するか、他の場にするなど再利用していくのがいいと思います。そして、専門職の採用を強くお願いします！	No.52と同じ意見であるため、No.52の市の考え方をご確認ください。 人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
58	不明	4、5	ハード評価、ソフト評価が記載しておりとてもわかりやすかったです。維持・運営を行っていくうえで必要なことは分かりましたが、必要に応じて計画を見直すことで、公立の施設が減ることには反対です。 人材確保が厳しいのは、仕事内容が責任が重すぎるからではないでしょうか。今は色々対応しなければならないことがあり、いくら時間があっても足りないくらいです。簡単な仕事ではなく人の命を預かる場としておもきを置いてほしいです。	No.52と同じ意見であるため、No.52の市の考え方をご確認ください。人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
59	不明		子育て施設の評価をハード面、ソフト面について数値化して表した点は良いと思いました。	No.52と同じ意見であるため、No.52の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミスは修正しています。)	市の考え方	計画への反映について
60	50代	2	発達支援センターの需要は年々上がっていますが、支援力不足からサービスの低下が見られます。 ハード面だけでなく、ソフト面の整備も必要だと思います。 また、関わる人材を育てる事を念頭にする研修などが必要ではないでしょうか。	発達・教育支援センター「エール」では、福祉分野と教育分野が一体となって切れ目ない支援を実現するために、多様な専門職を配置しています。専門職の人材育成につきましては、最重要事項だと認識しています。「エール」では、専門職の種類によっても異なりますが、資質向上を図るため、児童発達分野の大学教授や医者などを講師に迎えたスーパーバイズを定期的の実施しています。そのほか、内部でのカンファレンスの時間を設けて、専門職が一人で抱え込まずに、チームで支援方針等を検討する時間も設けています。今後も継続して専門職の資質向上に取り組んでまいります。 一方、昨今の社会問題となっている人材不足につきましては「エール」も例外ではございません。必要に応じ、各専門職が所属する会やハローワーク等との連携を通じ、必要な人材確保に努めてまいります。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。
61	50代	2	保育園などの子育て職場では、直接関わらない多くの人の力が必要ななか、人材不足をどのように考えていますか。 新しい物ではなく、今ある施設の活用や活性化を目指す事も大切だと思います。	人材確保については、No.5と同じ意見であるため、No.5の市の考え方をご確認ください。	いただいたご意見は参考にさせていただき、計画素案の変更は行いません。